

(仮称)市民交流プラザ建設工事(交流スペース等展示内装工事)
【設計説明書】

令和4年3月
株式会社 丹青社

1 交流スペースの役割

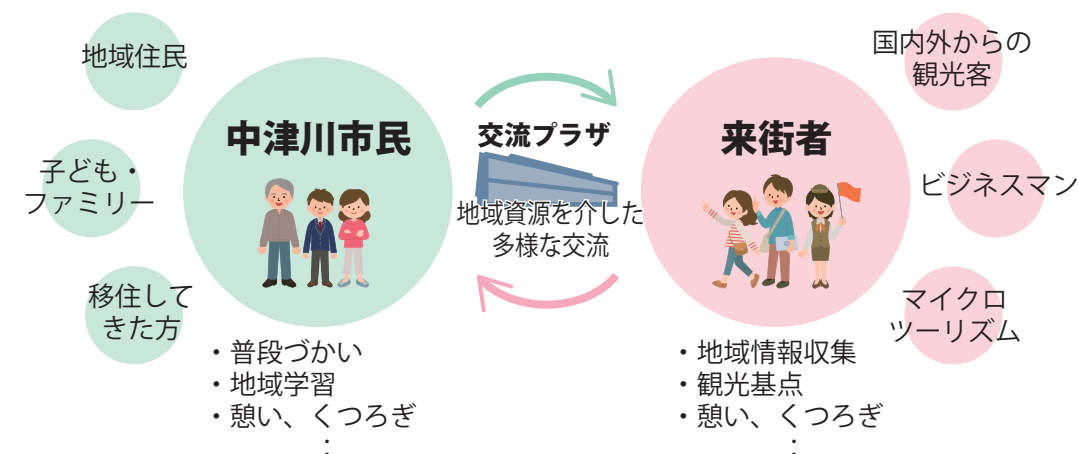
企画コンセプト **connect! 中津川**

中津川市の魅力ある資源 (人、情報、モノ) と
つながる・つなげる場

ねらい

- ①中津川市の魅力を (再) 発見する
- ②市内・近隣エリア周遊の起点となる
- ③市民と来街者のコミュニケーションを生み出す

2 ターゲット



3 1F ゾーニング・空間イメージ

- ・活用シーンに応じて様々な形式にレイアウト変更が可能。
- ・中津川市の街並みから着想した格子 (ルーバー) をデザインモチーフに、天井・壁面に象徴的に展開するとともに、利用者の誘導・展示システムなどの機能も与える。
- ・飲食・物販のサービス機能で興味を引き、中央部のコンシェルビジョンやなかつがわスタンプでの体験・活動、そして最奥部の企画展示スペースの鑑賞へつなげるなど、交流スペース全体に人の流れが形成される配置とする。

■交流スペース鳥観図

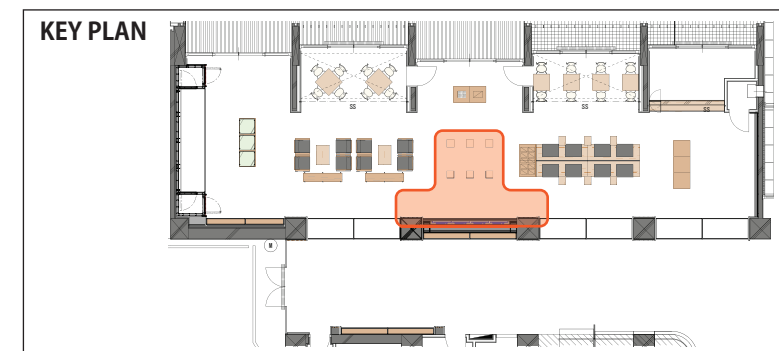


■交流スペース入口付近



1. コンシェルビジョン

- ・地域資源の魅力を、大型のマルチモニター（65型×縦4面）を使い紹介する体験型デジタルコンテンツ。
- ・コンテンツは「情報検索モード」と「映像上映モード」の2種。基本的には情報検索モードであるが、イベント時には映像上映モードに切り替えて任意の映像を上映することができる。
- ・4人同時操作を可能とし、コンテンツの内容についても運営者側で更新できるシステムとする。



※画面デザインはイメージ

(映像上映モード)



データを収めたUSBの差し替えにより、任意に映像の変更が可能（イベント時）

体験の仕方

- ①待機画面内には、下記コンテンツ例のサムネイル画像が流れている(アニメーションは2D表現・一種を想定)。“見たい写真にタッチ”等のアイコンやメッセージも表示されている。
- ②画像をタッチすると、詳細情報画面が表示される(タイトル・解説文・画像or動画1点を想定)。
- ③一定時間操作がないと、①へ戻る。

①待機画面



②詳細情報画面

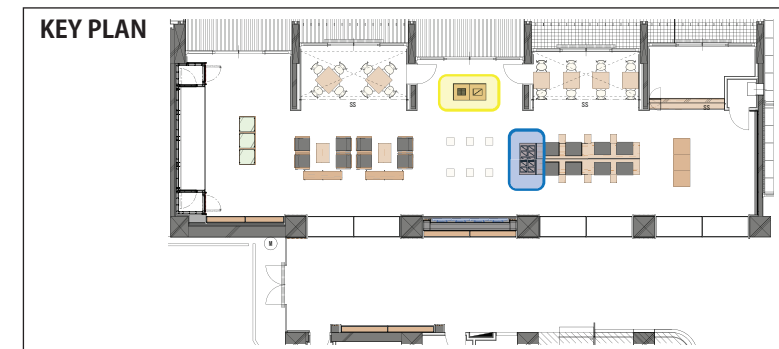


■コンテンツ例

テーマ	コンテンツ例
自然	付知峡、富士見台高原、東濃ひのき、鉾物博物館所蔵の資料 など
歴史	中山道(中津川宿、落合宿、馬籠宿)、苗木城跡、指定文化財 など
文化(芸能・食など)	地歌舞伎、栗きんとん、祭り、五平餅 など
偉人	青山胤通、前田青邨、島崎藤村、熊谷守一、中川とも など
その他施設など	市内施設、市所蔵の絵画作品(東山魁夷など)、リニア など

2. どこいこマップ

- ・主に来街者向けの情報として、市域の著名な観光スポット等をイラスト・地図等で表現したマップ。
- ・マップは市域エリア（周辺地域含む）と、市民交流プラザ周辺のまちあるきエリアの2種展開し、基本的な情報を提供する。詳細情報については、QRコードから既存HPの各ページに飛べる仕様とする。
- ・板面はマグネット仕様にする事で、季節ごとの見どころ等を施設スタッフによって追加できるようにする。
- ・関連するパンフレットやチラシ等も配架する。



市域やその周辺エリアについて紹介する「市域マップ」

パンフレットやチラシ等も配架



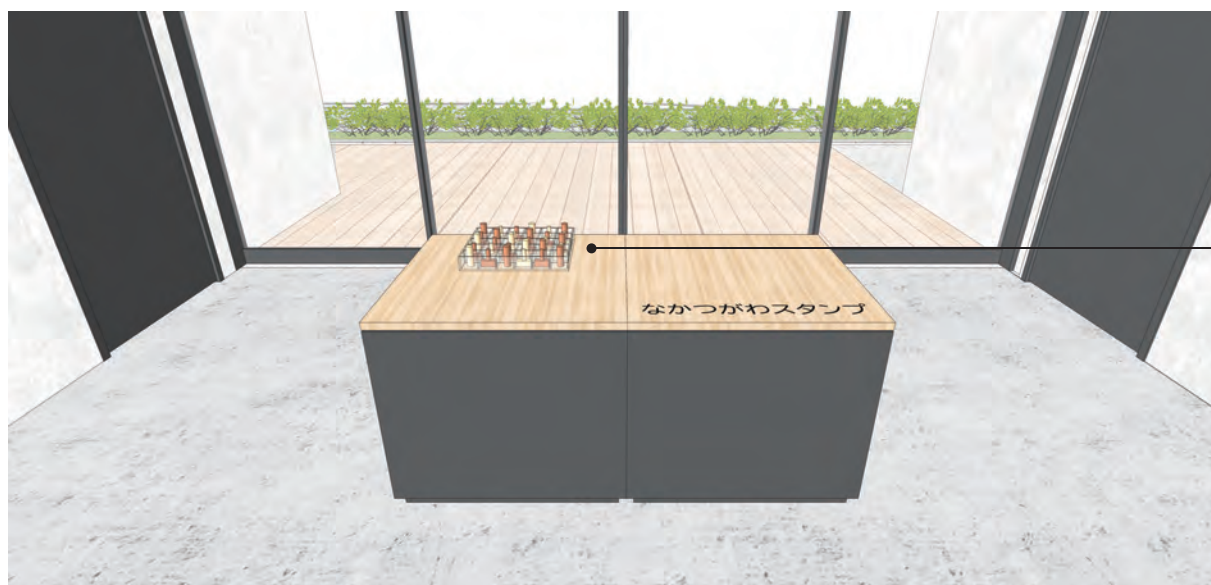
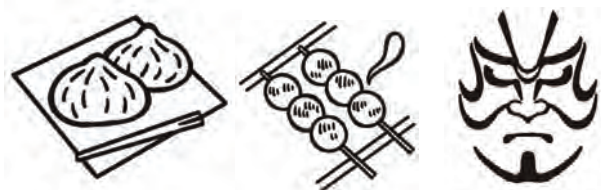
市民交流プラザ周辺の観光情報を紹介する「まちあるきマップ」

3. なかつがわスタンプ

- ・中津川市の歴史・文化・自然等をイラスト化し、スタンプとして設置。スタンプは村上康成氏の描く動植物等のほか、開館後もテーマに合わせて追加制作し、市内スタンプラリー等にも活用できるようにする。
- ・利用者は自分の好きなスタンプをノート等に押しして持ち帰ることができる。無地のノートやトートバッグをショップで販売し、スタンプを押してオリジナルのものをつくるなど、商品開発面での連携も検討する。
- ・上階の図書館をはじめ、施設全体のつながりや世界観の統一も期待される。

スタンプのモチーフ・デザインについて

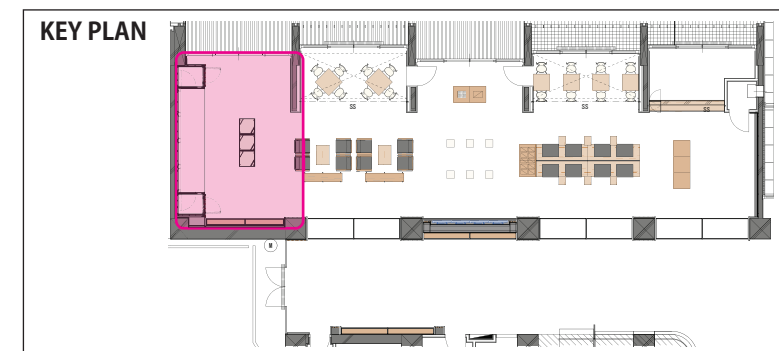
- ・中津川市の動植物（山や川の生き物、栗など）
- ・特徴的なスポットやテーマ（街道、地歌舞伎、山城、リニアなど）



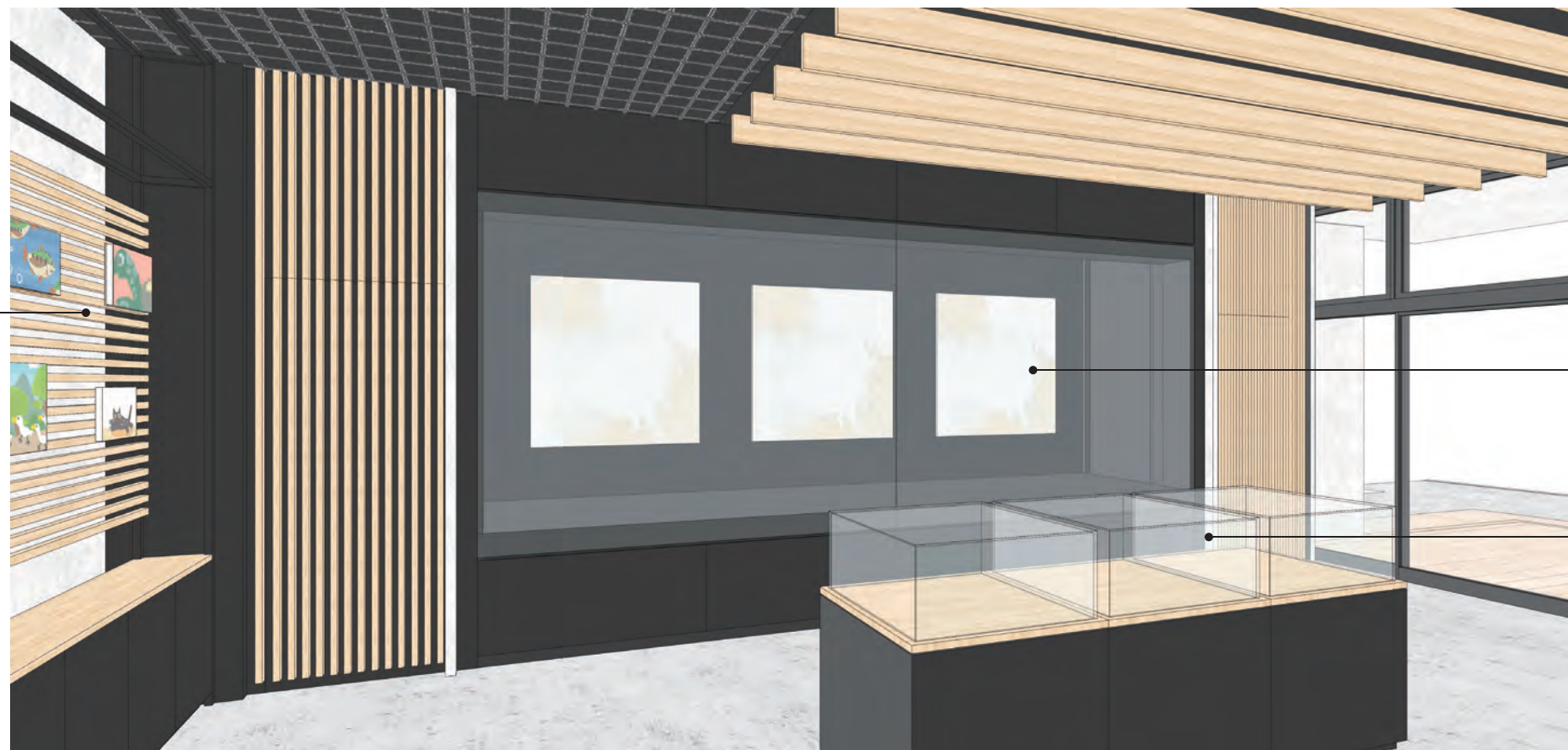
スタンプのデザインは開館後も随時追加予定

4. 企画展示スペース

- ・ウォールケースや展示ワゴン等を使い、中津川市の地域資源に関する企画展示を開催。
- ・展示内容は定期的に更新し、テーマに応じて市内施設や各部局と連携して実施する。



壁面には、解説パネルや資料展示用の棚などが取り付け可能なシステムウォールを設置



複製画等を展示するウォールケース。展示環境に特別な配慮を必要としない資料を展示する

様々な資料を展示できるワゴン。テーマや資料の形態に応じて、上部のアクリルケースは脱着できる

■展開テーマ・資料例

テーマ	展開内容	展示資料
郷土の偉人① 「前田青邨」 「熊谷守一」 「中川とも」	<ul style="list-style-type: none"> ・市との関わり ・展示作品の説明 ・その技法や魅力について 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真パネルや複製画 ・リトグラフや複製画
郷土の偉人② 「島崎藤村」	<ul style="list-style-type: none"> ・「藤村記念館」との連携企画 ・藤村の経歴などで人物像の紹介 ・『夜明け前』などの作品紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・『夜明け前』の複製原稿 ・藤村と馬籠に関する写真や資料 ・藤村の著した書物や関連書籍
郷土の偉人③ 「東山魁夷」	<ul style="list-style-type: none"> ・「東山魁夷心の旅路館」との連携企画 	<ul style="list-style-type: none"> ・「東山魁夷心の旅路館」企画展テーマに合わせた一部複製画

■その他テーマ例

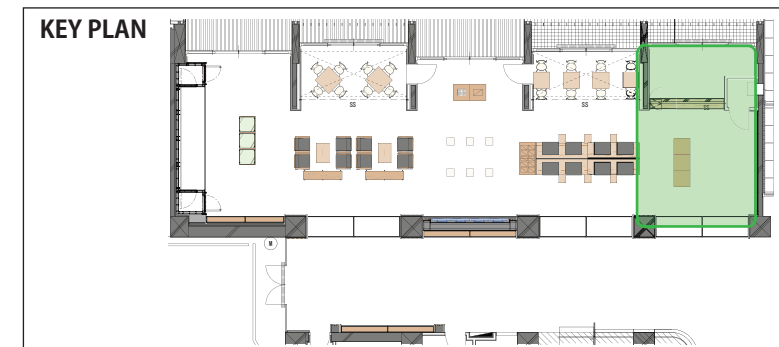
テーマ	展開内容	展示資料
中津川市の地歌舞伎	<ul style="list-style-type: none"> ・地歌舞伎の衣装や小道具の紹介 ・演目の説明 ・過去の講演会の映像上映 	<ul style="list-style-type: none"> ・東美濃ふれあいセンターの展示室（現在閉鎖中）などに展示されている衣装や小道具等
市内博物館等の展示紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・各館が担当して、企画展に関わる資料を紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・「熊谷樞つけちギャラリー」：現存作家の作品 ・「遠山史料館」：各企画展に関する資料、青邨複製画 ・「鉾物博物館」→「私の展示室」に関する資料
イベントのPR展示	<ul style="list-style-type: none"> ・市民展等イベントに関連する資料紹介 ・時事の話題に関連する資料紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・「文楽能大会」：文楽の頭や衣装など ・「東濃歌舞伎大会」：三味線、衣装など ・「市民展」：審査員や地元作家の作品、受賞作品 ・市が所有し、普段公開していない資料 ・発掘遺物（土器など）

5. カフェ・ショップ

- ・ショップの商品棚として展示ワゴンを活用する。なお、カフェはカウンター部のみ展示側の区分とする。
- ・壁面には村上康成氏の作品展示を行う。

村上康成氏の作品展示について

- ・作品は W1,200xH2,200x4 枚で構成を予定。
- ・設置壁面の上下に間接照明を設置し、作品を際立たせる。
- ・汚損等防止のため、足元に結界を設置する。



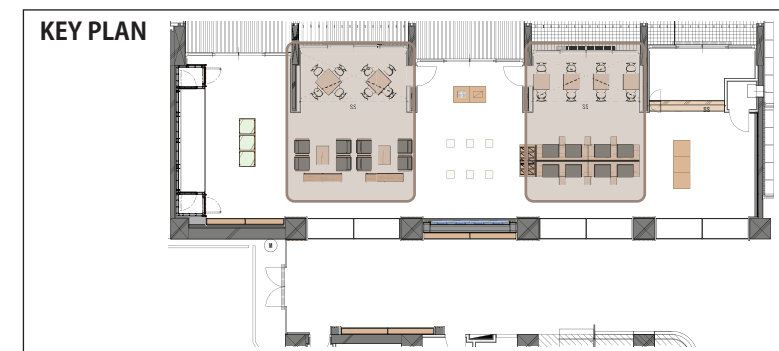
壁面には村上康成氏の作品を展示。
象徴的な演出により、利用者を出迎える



ワゴン什器をショップの
商品棚として活用

6. いこいラウンジ

- ・利用者が人数や目的に応じた使い方ができるように、多様な形態のテーブル・椅子を配置し、ゆっくりとくつろげるスペースを展開する。
- ・開放的ながらも落ち着いた雰囲気醸成できるように、空間に調和した家具等を配置する。
- ・雑誌等の書籍や特産物を配架・展示できる什器も設置する。



ベンチ・サイドテーブル

気軽に腰かけてもらえるような、ベンチタイプの椅子を配置。サイドテーブルにはカフェで購入した飲物や観光パンフレット等を乗せるなど、小休憩や待ち合わせとしての利用シーンが想定される。



ソファ・ローテーブル

よりくつろげるスペースとしてソファ席を展開。目線の高さに展示・書架什器を設置し、入口側の動線と区別する。



テーブル席 (4人掛け用)

グループや打ち合わせ利用など、様々なシーンでの活用が想定される。

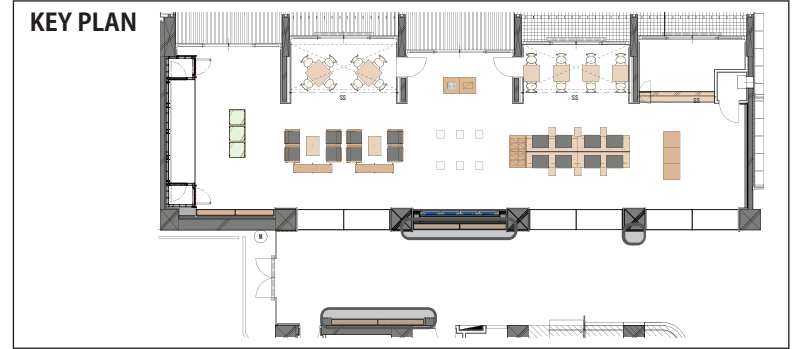


テーブル席 (2人掛け用)

窓際に配置したテーブル席は、社会人のワーキングスペースや学生の学習スペースとしての利用も考えられる。テーブルをくっ付けることで、多人数での利用も可能な汎用性の高いスペース。

7. ギャラリーウォール

- ・廊下側の壁面を活用し、主に市が所蔵する「熊谷守一記念大賞展」や「前田青邨記念大賞展」の作品を展示する。
- ・展示作品はピクチャーレール等で簡易に入替ができるシステムとする。
- ・ショップ側の柱には、ポスター等を掲示できるスペースも展開する。



■交流スペース側



作品情報を伝えるグラフィック

■受付側



下部は収納スペースとなっており、
展示に使用する備品等を整理できる